

食中毒等への対応

梅雨が終わりいよいよ夏休みが近づいてきました。これからは食べ物の傷みが早いので食中毒が流行る時期でもあります。ただでさえ暑さで体調を崩しやすいのに加え、食べ物が傷みやすく、病原菌や衛生害虫も繁殖しやすいなど、胃腸を壊しやすい要因が多くなります。食べ物に注意したり、体力を落とさないように適度な運動を続けたりしつつも、手洗い、うがいなどの予防には十分注意しましょう。

以前、こんな実験を聞いたことがあります。**よく洗っていない手と公衆トイレの洋式便座からぬぐったものを細菌培養して比較した実験で、手から増殖した雑菌が便座の数倍も多かった結果が出ています。**指の指紋や爪の中などには、目に見えない菌が想像以上に多いことを表しています。誰が座ったか分からない便座よりも菌の多い自分の手、そんな手を洗わずに食事ができますか？

感染予防の基本は手洗い・うがいです。基礎・基本は、学習だけではないようですね。体力の維持・向上とともに予防にも気を付けましょう。

期末テスト後の考え方

1学期末テストが終了して約7日。テストも戻ってきて一息ついている事と思います。しかし、テストの出来不出来も大事ですが前後の取組が重要です。しっかりと見直しができて次の学習に入っているか、できなかった問題を自宅学習などでしっかり復習していく習慣は、点数化されませんが大切な「学力」の一つと考えられます。

いうならば、「見えない学力」とでもいいでしょうか。

海に浮かぶ冰山は、大部分は海の中に隠れ、全体のほんの一部しか見えていません。

テストの点数という「見える学力」だけでなく、点数化されない「毎日の取組」「プリントの整理」「質問をする習慣」「テストのやり直し」「忘れ物をしない」などの、「見えない学力」＝「学習習慣」にも目を向けていきましょう。

運動する習慣をもっていれば、その人は健康になる。甘いものばかり食べれば、生活習慣病になりやすい。それと同じように、**成功に向けて行動する習慣をもっていればその人は成功するでしょう。学習習慣も同じです。今の取り組み方で夏休みも変わります!!**



はじめは人が習慣をつくり、それから習慣が人をつくる

ジョン・ドライデン（イギリスの詩人）